



新キャンパス移転プロモーション展
教材としての芸術資料
—金沢美術工芸大学所蔵の工芸優品選—

主催：金沢美術工芸大学 後援：金沢市

いしかわ百万石文化祭 2023 応援事業



《友禅染 額 花ふきよせ》古代裂今昔西村／《草花蒔絵飾棚》二木成抱 大正～昭和時代／《大根鼠置物》山田宗美 明治時代／《青手葉蘭図平鉢》古九谷 江戸時代（17世紀）／《刀 銘越中守藤原高平 元和八年正月日》初代兼若 元和8年（1622）すべて金沢美術工芸大学蔵



2022年10月27日(木)～11月1日(火) 10:00～17:00 (最終日は午後1時閉場)
会場：金沢市文化ホール 展示ギャラリー



金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

新キャンパス移転プロモーション展
教材としての芸術資料
—金沢美術工芸大学所蔵の工芸優品選—

主催：金沢美術工芸大学 後援：金沢市
いしかわ百万石文化祭 2023 応援事業

ごあいさつ

金沢美術工芸大学は、令和5年(2023)10月1日より、更なる飛躍を期して新キャンパスでの歩みを始めます。地域に開かれた大学をめざす新キャンパスでは、市民のみなさまをはじめ学外の方々が気軽に訪れるこことのできる展示施設を整備し、絵画・彫刻・工芸・デザイン・その他の分野にわたる貴重な芸術資料の公開の拡充を予定しています。

本学は、昭和21年(1946)の開学以来、教育研究用の資料として、また、優れた芸術に接する機会を市民に提供するために、世界的に著名な芸術家の作品を含む約6,700点の芸術資料を収集してきました。この展覧会は、キャンパス移転に先立ち、日々の“教材”として活用してきた芸術資料を身近に感じていただくために、学内ではなく、まちなかで開催する“出開帳”です。

第三弾である今回は、所蔵品の中から工芸の優品を中心に展示いたします。

芸術資料の鑑賞を通して、本学の教育研究に関するご理解を深めていただければ幸いです。

令和4年10月27日

金沢美術工芸大学 学長 山崎 剛

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART



〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1
TEL 平日 076-262-3519 (美術工芸研究所)
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>

2022年10月27日木 — 11月1日火

10:00 ~ 17:00 (最終日は午後1時閉場)

会場 金沢市文化ホール 展示ギャラリー

観覧
無料



1 《銅製鷹置物》山川孝次 水野源六 明治時代

2 《月光 衝立》木村雨山 昭和32年(1957)

3 《色絵岩に鳥居平鉢》古九谷 江戸時代(17世紀)

4 《白磁壺》富本憲吉 昭和11年(1936)

5 《臘銀花入 雨》高村豊周 昭和時代

6 《蒔絵木の間硯箱》小松芳光 昭和10年(1935)頃

7 《大堰川図蒔絵硯箱》江戸時代(19世紀)

8 《菊桐蒔絵中次》初代 西村松逸 大正～昭和時代

9 《鉄地京都風景図象嵌香草筍》駒井製 明治時代

10 《銅製葡萄栗鼠図洋灯》鈴木長吉 明治時代

すべて金沢美術工芸大学蔵

会場アクセス



バス

金沢市文化ホール(金沢市高岡町15番1号)

JR金沢駅バスターミナル兼六園口(東口)3番・8~11番乗り場より
バスにて約15分 「南町・尾山神社」下車、徒歩約3分



タクシー

JR金沢駅から約10分



新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください



マスク着用



検温



手指の消毒



ソーシャルディスタンス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催状況が変更となる場合があります。
ご来場前に本学ホームページにてご確認くださいますようお願い致します。